

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	一般・退職被保険者等高額療養費支給事業			事業コード	1673
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	館岡 圭子	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 2款 2項 1目 一般費保険者高額療養費(001-01) 国民健康保険費特別会計 2款 2項 2目 退職被保険者高額療養費(001-01)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度      ● 単年度繰返      ○ 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和48年度～)		
事務事業の概要	国保加入者が保険医療機関又は保険薬局を受診した際に支払う一部負担金の額が自己負担額を超えた場合、その超えた分を申請によって支給する。					
根拠法令等	国民健康保険法第57条の2					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
以前は任意給付とされていたが、昭和50年10月1日より国民健康保険法で高額療養費の法定給付が実施された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
平成14年10月1日より高額療養費制度が大幅に改正され、高齢者(70歳以上で老人保健(現 後期高齢者医療制度)適用外)の区分が新たに設けられた。後期高齢者医療とほかの健康保険制度そのもののあり方について検討されており、高額療養費の世帯限度額や申請方法などについて改正が続くものと思われる。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	保険医療機関等に対し支払った一部負担金の額が一定額を超えた国民健康保険加入者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 高額療養費申請者 B. C.	単位 人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ◎納税通知書送付時、高額療養費をはじめ、各給付事業周知パンフレットを同封 ①国保加入者が入院等で医療機関等に支払う一部負担金の額が自己負担限度額を超えた。※本人が病院に支払う際、市国保窓口で相談・申請するよう説明を受けて来庁する方も多い ②申請に基づき審査を行い、概ね受付をした月から3か月以内に指定口座へ振込む  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 高額療養費受付件数 B. C.	単位 件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	入院等により医療費の支払いが高額となった被保険者に対して、所得区分によって決められている自己負担限度額を超えた分を支給することにより、被保険者の医療費負担を軽減する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 高額療養費支給額 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 高額療養費申請件数1件当り支給額 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位 千円
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に運営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位: 千円) 1人当たり療養諸費用額(単位: 円) 現年度収納率(単位: %) 実質単年度収支額(単位: 千円)	単位 千円

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	高額療養費申請者	人	20932	22,104	20000	23,576	25,000	25,000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	高額療養費受付件数	件	20932	22,104	20000	23,576	25,000	25,000	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	高額療養費支給額	千円	1547865	1,663,871	1,660,000	1,776,690	1,867,241	1,867,500	年度
成果 指標B	高額療養費申請件数1件当り支給額	千円	73947	75.275	83.000	75.36	74.690	74.7	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,547,865	1,663,871	1,660,000	1,776,690	1,867,241	1,867,500	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	1,547,865	1,663,871	1,660,000	1,776,690	1,867,241	1,867,500	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	1,547,865	1,663,871	1,660,000	1,776,690	1,867,241	1,867,500	*****
	延べ業務時間数	時間	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	1,562,265	1,678,271	1,674,400	1,791,090	1,881,641	1,881,900	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 国保加入者の医療費負担が軽減されている
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他 理由:
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 申請を受けて審査をし支給するという性質の事業のため
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国民健康保険法に規定されているため、休廃止はできないが、仮に休廃止をすると加入者の医療費負担が増大する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費内訳は高額療養費(法定給付)支給分であり、削減できない
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 平成14年10月の制度改正によって、高額療養費制度が複雑化したことに加え、支給件数の増加により人件費の削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国民健康保険法で定められている加入者のため
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 各世帯ごとの自己負担限度額は国民健康保険法で定められているため

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  高額療養費制度の周知徹底を図る</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  難解な制度のため、パンフレットや広報への掲載などによる周知だけでは制度そのものを理解してもらえないかもしれないが、制度があるということだけでも気づいてもらいたい。窓口や電話等での問い合わせに対し、丁寧に分かりやすく説明をすることで改善を図っていく。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>保険者として、高額療養費の支給を行い、被保険者の医療費負担の軽減に努めた。                  特に、22年度からは、高額療養費の未申請者に対し、返還される金額を記入した申請勧奨通知を行い、早期の申請を促しているほか、23年度からは、この抽出作業もシステム化したことで、事務量の軽減が図られている。                  また、限度額認定証の更なる制度の周知徹底を図るとともに、税関係の申告の有無により、限度額が変わることなどの啓発にも努めたい。</p>		
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			